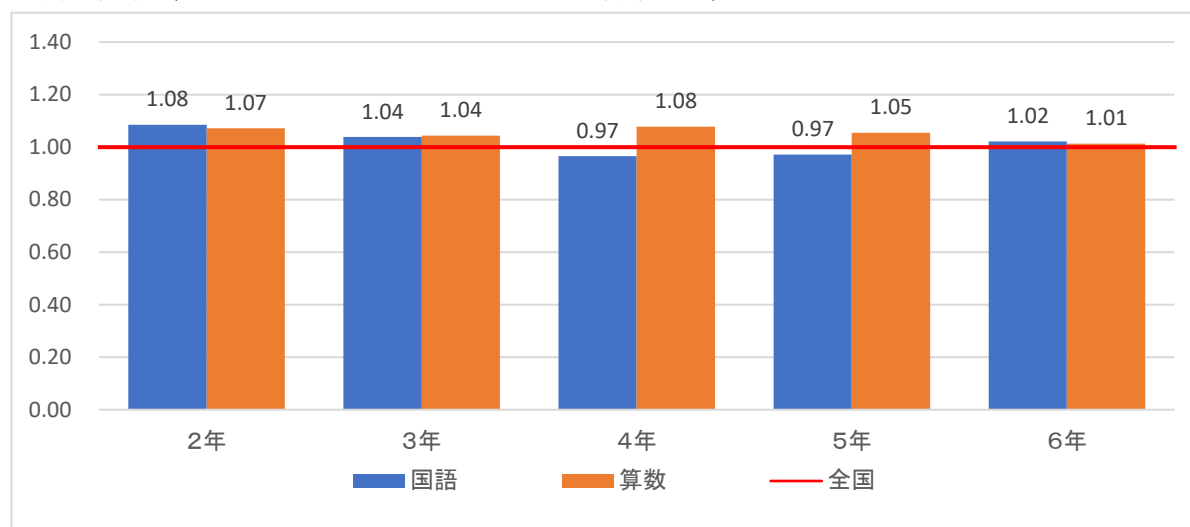


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第九中学校区 啓明小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	全学年で「書くこと」領域に高い結果が見られた。一方「話すこと・聞くこと」「読むこと」領域では課題が見られ、今後は、教科横断的に課題を克服する学習場面に取り組んでいく。
	算数	研究教科として系統的に授業改善を行い、全国平均と同等、または上回る結果であった。活用問題で結果が向上しているが、高学年での伸び率には課題がある。引き続き、確実な基礎学力の向上、また問題解決学習による思考力の強化を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「書くこと」領域では全国平均を大きく上回っている。一方、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関連づけたりして伝え合う内容を検討する」設問に課題が見られた。引き続き、教科横断的に国語力を活用する学習場面を取り入れていく。
	算数	「データの活用」領域においては改善が見られたが、「図形」領域には課題が見られる。作図を中心に、図形の性質の理解を深めていく。
	質問紙	「学校が楽しい」という項目では80%が肯定的な回答であった。また、「自分にはよいところがあると思いますか」という項目では全国平均を下回っているので、教育活動全体を通じて、PBIS(ポジティブ行動支援)に取り組んでいく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区として聞く力・話す力を大切にしてディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、「考える力」の育成に取り組んでいる。

ねやがわスタンダードを基に小中9年間で一貫した指導を校区教員で進め、児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、がんばっている姿・良いところを褒めて、自己肯定感を高めていくことを進めている。

【 学 校 】

分析の結果見えてきた課題を学校全体で周知し、授業や家庭学習に組み込み、自立した学習者の育成をめざす。また、課題克服に向けて、寝屋川スタンダードをもとに授業改善を進める。